

婦人がん検診について



婦人がん個別検診の受診券等を発送しました

個別に医療機関で婦人がん検診受診を希望された方には、6月末に受診券と受診票を発送しました。受診期限は12月末までとなっておりますので、ご注意ください。

申し込みをされた方で、受診券等が届いていない場合は健康づくり班まで連絡をお願いします。

なお、10月実施予定の集団検診による乳がん検診受診を希望された方には、9月中旬に受診票を発送させていただきます。

*平成28年度に集団検診で実施する婦人がん検診は『乳がん検診』のみです。

子宮がん検診は、今年度個別検診です。自己負担は無料です。

婦人がん個別検診ができる医療機関



《子宮がん検診 個別検診医療機関》

内田産婦人科、梅原産婦人科、国見産婦人科、クリニックグリーンハウス、高知検診クリニック、三愛病院、小林レディースクリニック、竹下病院、田村産婦人科、はまだ産婦人科、藤井クリニック、高須どい産婦人科、レディースクリニックコスモス、高知県総合保健協会、北村産婦人科、たにむら産婦人科、なんごく産婦人科、にこにこレディースクリニック、嶺北中央病院、国立病院機構高知病院、新松田会愛宕病院、浅井産婦人科

《乳がん検診 個別検診医療機関》

いずみの病院、伊藤外科乳腺クリニック、クリニックグリーンハウス、高知検診クリニック、高知生協病院、国立病院機構高知病院、凶南病院、やまかわ乳腺クリニック、高知県総合保健協会、高知西病院、高知赤十字病院

婦人がん個別検診の注意事項

受診を希望する医療機関に必ず予約してから受診券等を持ってお出かけください。受診には受診券と受診票が必要です。婦人がん検診を医療機関で個別受診される方は、必ず保険証を持参してください。

問い合わせ先

住民課健康づくり班 下村



『なぜ隔年の検診？』

大豊町では、乳がん検診（40歳～）と子宮がん検診（20歳～）の集団検診を毎年隔年で実施しています。乳がん検診は、厚生労働省によるがん検診のあり方に関する検討会中間報告書（平成27年9月）に『マンモグラフィによる検診の適正な受診間隔について、早期乳がん比率と中間期乳がん発生率から検証した結果、2年に1度とすることが適切である』と説明しています。つまり、がんが大きくなるスピード等のデータを検討した結果、2年に1度受診すれば、早期の乳がんを発見できると言えます。ただし、ごく一部の進行が速い乳がんは隔年実施では早期発見できないこともあります。マンモグラフィは被ばくを伴う検査であり少数を発見するために、全員に不利益を生じることになるため、集団検診としては科学的根拠のない毎年受診はせず、2年に1度の隔年受診としています。

子宮がん検診についても厚生労働省の検討会において、隔年受診でも検診の有効性は保たれるとの判断で隔年受診となっています。子宮頸がんは一般的に非常にゆっくりと進行し、前がん段階から浸潤がん（進行がん）になるには、2～3年かかると言われ、検診を毎年受診した場合と2年に1回受診した場合の検診効果は変わらないとされています。

このようなことから、婦人がん集団検診は隔年検診としています。

早期発見のためには必ず2年に1回受診し、自分の体の状態を確認していくことが大切です。今まで未受診の方には、個別検診も受けていただけるようにしていますので、ぜひ受診しましょう。

木造住宅の耐震診断が

3,000円 で受けられます

町では、地震に強い、安全なまちづくりのため、古い基準で建てられた木造住宅の耐震診断、耐震改修設計、耐震改修工事にかかる費用の一部を補助しています。



※対象となる木造住宅は、昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅で2階以下の建物、かつ、現在居住中の建物です。耐震診断の結果、耐震改修が必要と判定された場合は、耐震改修設計補助金および耐震改修補助金を利用することができます。

事業名	補助金額
耐震改修設計事業	改修設計費用 × 2/3 (上限 205,000 円)
耐震改修事業	改修費用全額 (上限 925,000 円)



耐震改修設計補助金および耐震改修補助金は、昨年度までは事業完了時に一度業者に費用全額をお支払いいただき、完了検査後、補助金を交付していましたが、今年度から、役場が直接業者へ補助金額を支払うことにより、準備していただく費用が軽減されました。

◎ 標準的な事例

	費用額	補助金額	自己負担分
耐震診断	33,943 円	30,943 円	3,000 円
耐震改修設計	350,000 円	205,000 円	145,000 円
耐震改修	1,000,000 円	925,000 円	75,000 円

申し込み・問い合わせ先 … 産業建設課 建設水道班 高橋・杉本